

7. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会

(財)日本防火協会は、(財)救急振興財団の支援を受け、婦人防火クラブ員救急講習会を全国的に展開しています。

これは、当協会が平成12年度から開始した事業で、モデル地区を指定し、その地区の100名程度の婦人防火クラブ員が普通救命講習を受講するものです。

婦人防火クラブは、家庭内で火を取り扱う機会が比較的多い主婦などで組織され、各家庭内での防火意識の醸成や地域での防火・防災思想の普及など、多彩な活動を行っています。この事業は、その一環としてのもので、婦人防火クラブ員が心肺蘇生法や大出血時の止血法など、救急車の現場到着までに必要な応急処置ができるようにすることで、それぞれの地域の救命率を高めることを目的とするものです。さらには、婦人防火クラブが、地域における自主防災組織の中核としての役割も担っていくことをも期待しています。

[▲ このページの上に戻る](#)

平成17年度「婦人防火クラブ員救急講習会」の開催

長崎県 長崎市婦人防火クラブ連絡協議会・長崎県消防局

平成17年9月3日・9日・10日の3日間に分けて、(財)日本防火協会から交付を受けた自動体外式除細動器(AED)トレーナー及び応急手当講習テキスト等を活用して「婦人防火クラブ員救急講習会」が実施され、クラブ員88名が受講し、全員が真剣に取り組んでいました。

第1回目は9月3日(土)に長崎市北消防署3階講堂において、9時より婦人防火クラブ員33名を対象に実施されました。第2回目は9月9日(金)9時30分から、長崎市北消防署3階講堂において婦人防火クラブ員27名を対象として、第3回目は、9月10日(土)9時30分から、梅香崎中学校武道場において婦人防火クラブ員28名を対象として実施されました。

救急テキストにより説明がなされ、その後、人形を使っての2人1組での傷病者に対する気道確保、人工呼吸法、心臓マッサージに至る心肺蘇生法や止血法などを学びました。

なお、再講習者数は14名で、受講者全体に対する再講習者の割合は約15.9%になりました。

また、講習会修了者には普通救命講習修了証が交付されました。



平成17年度「婦人防火クラブ員救急講習会」の開催

栃木県 鹿沼市婦人防火クラブ連合会・鹿沼地区広域行政事務組合消防本部

9月9日（金）10日（土）の2日間、「婦人防火クラブ員救急講習会」が鹿沼地区広域行政事務組合消防本部3階大会議室において開催されました。

救急講習会は3回に分けて行われました。9月9日（金）午前9時から行われた講習には婦人防火クラブ員36名、10日（土）午前9時から行われた講習には婦人防火クラブ員42名、10日（土）午後1時から行われた講習には婦人防火クラブ員34名が受講しました。クラブ員計112名が講習会に参加しました。

救急救命士による説明の後、班ごとに分かれての実技講習が行われました。人形を使っての2人1組での傷病者に対する気道確保、人工呼吸法、心臓マッサージに至る心肺蘇生法や止血法などを学びました。

アンケート調査では、ほとんどの人がもう一度受講したいという感想を述べており、今後の応急手当の普及推進が図られていくものと確信でき、大盛會に終了することができました。



命を救う「あたりまえ」を实践！ 澤田婦人防火クラブ員を対象に「普通救命講習会」を開講

兵庫県 龍野市幼少年婦人防火委員会・龍野市消防本部

平成16年7月、心肺停止者への救命効果が高いAED（自動体外式除細動器）が一般市民でも使用できるようになり、公共機関に設置が進められるなか、管内の澤田婦人防火クラブは、「命を救うことは“あたりまえ”」をモットーに、全クラブ員を対象とした普通救命講習会を今年度からスタートさせました。

（財）日本防火協会からAEDトレーナーなどを寄贈いただき、今年8月、97名のクラブ員が4日間に分かれ第一回目を開催。兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の山崎会長をはじめ多



数の来賓をお招きするなか、出席したクラブ員は、「救命は、わたしたち婦人防火クラブ員から」との決意を新たに講習に臨みました。

普通救命講習会は、消防本部の救急救命士を講師に3時間に及びました。まず、座学で身体の仕組みや応急処置の効果を理解した後、数人のグループに分かれ心肺蘇生法とAEDの実技へ。AEDは、見るのが初めてのクラブ員がほとんどで、声を出しての安全確認をしながらAEDからの指示音声にそって操作していきました。そして締めくくりは、心肺蘇生法の習得度をみる「効果測定」。心肺停止者に遭遇したとの想定で、発見から救急車の要請、心肺蘇生法までを一人で決められた時間内に行うもの。受講者全員が見つめ、まるで救急現場さながらの緊迫した雰囲気の中、名前を呼ばれたクラブ員は緊張した面持ちで等身大の人形に向かっていました。

全員無事に合格、修了書を手渡され、やっとクラブ員に微笑が！充実した体験に、クラブ員だれもが命を救う大変さを知り、同時に命を救えた喜びも感じ取ったようで、「ぜひ、また受講したい」との感想が多く寄せられました。講習会を重ねるごとに、大切な命を救う技術の向上はもちろん、行動を起こす勇気を持ったクラブ員が増えることを確信したスタートとなりました。



▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 平成17年\(1月～6月\)における火災概要\(概数\)](#)
- [2. 平成17年度 秋の叙勲](#)
- [3. 平成17年 赤坂御苑 秋の園遊会](#)
- [4. 総合防災訓練\(千葉会場・焼津会場\)](#)
- [5. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催](#)
- [6. 自主防災組織リーダー研修会\(香川県・徳島県\)](#)
7. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会
- [8. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
- [9. 第17回 全国女性消防操法大会](#)
- [10. 地方からの便り](#)
- [11. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [12. 日本防火協会からのお知らせ](#)